

Discover Japan

2022
April

4

2022年4月号(毎月6日発売)
3月4日発売／第4巻第5号／通巻39号

風景写真家
森田敏隆さんが案内

一生に一度
見ておきたい

桜の名所
10

特集

身体と心をととのえる

春旅へ。

サウナ、発酵、美食、温泉

プロサウナーととのえ親方が
いま行くべきサ旅を案内！



○ととのえ親方・松尾大さん監修！ サウナを通して地域の魅力を体感する、おすすめの“サ旅”12選○くるみの木・石村由起子さんと行く、“発酵”と“食”でととのう滋賀旅○マッキー牧元さん、食材と出合う楽しさを求めて佐賀のイタリアン「Kaji synergy restaurant」へ○ディスカバー・ジャパンが惚れた、出張メシ29 ○地域が持続していく、これからの観光の在り方とは？ 群言堂・松場大吉さんなど……

広島県・尾道市

瀬戸内海に浮かぶ名建築で、憧れの船旅へ。

guntû

備後地方で親しまれるイシガニの愛称を名の由来とする「ガントウ」。

専用ラウンジで過ごした後に乗船する船内には、端正で美しい空間が広がっている。



瀬戸内海の色彩を満喫するための木の建築

3階建てとなるガントウの、最上階にあるオープンデッキ。巡航速度は10ノット(時速18.5km)のため、揺れが少なくエンジン音も静か

日本人に馴染み深い切妻屋根を載せ、瀬戸内海の澄んだ蒼や真つ赤な夕焼けなど、どんなときも周囲の色彩に染まる銀色の外観。船内には檜やサワラなど11種類の木材をふんだんに使用し、漆喰も多用している。上質な落ち着きと洗練さを兼ね備えたシンプルモダンな空間は、船上であることを忘れるほど居心地がよい。

設計者は建築家の堀部安嗣さん。「瀬戸内の風土や文化、生活が感じられる船」を目指したそうで、それを表現したエリアのひとつが、切妻屋根の下のオープンデッキや「縁側」と呼ぶスペースだ。軒先は瀬戸内海の風景をドラマティックにフレーミング。潮風を受けながら島々を眺めていると、堀部さんが思い描いた「陸地で暮らす方々と時間を共有している感覚」が胸に迫ってくる。

2017年10月、穏やかな瀬戸内海をめぐる客船「ガントウ」が就航した。コンセプトは「せとうちの海に浮かぶ、ちいさな宿」。広島県・尾道にあるベラビスタマリーナでゲストを乗せ、ゆったりと海の上を進んでいく。

日本人に馴染み深い切妻屋根を載せ、瀬戸内海の澄んだ蒼や真つ赤な夕焼けなど、どんなときも周囲の色彩に染まる銀色の外観。船内には檜やサワラなど11種類の木材をふんだんに使用し、漆喰も多用している。上質な落ち着きと洗練さを兼ね備えたシンプルモダンな空間は、船上であることを忘れるほど居心地がよい。



設計=建築家・堀部安嗣

1967年、神奈川県生まれ。建築家・益子義弘氏に師事し、1994年、堀部安嗣建築設計事務所設立。「牛久のギャラリー」で吉岡賞、「竹林寺納骨堂」で日本建築学会賞(作品)、「立ち去りがたい建築」で毎日デザイン賞を受賞

瀬戸内の海に溶け込む シルバーの外装



海と空の色を映し出すシルバーの船体は、瀬戸内海の風景によく馴染む。空間もサービスも一級品。まさに海に浮かぶ贅沢な宿だ

ガンツウは出港後、ほかの港には寄港せず、夜は海に錨を下ろしてひと晩を過ごす。ただしテンドーボートに乗り換えて島々を訪れる船外体験も用意。着岸場所は航路によって異なるが、瀬戸内の風情ある街並みやのどかな日常に触れられる、特別な体験となる。

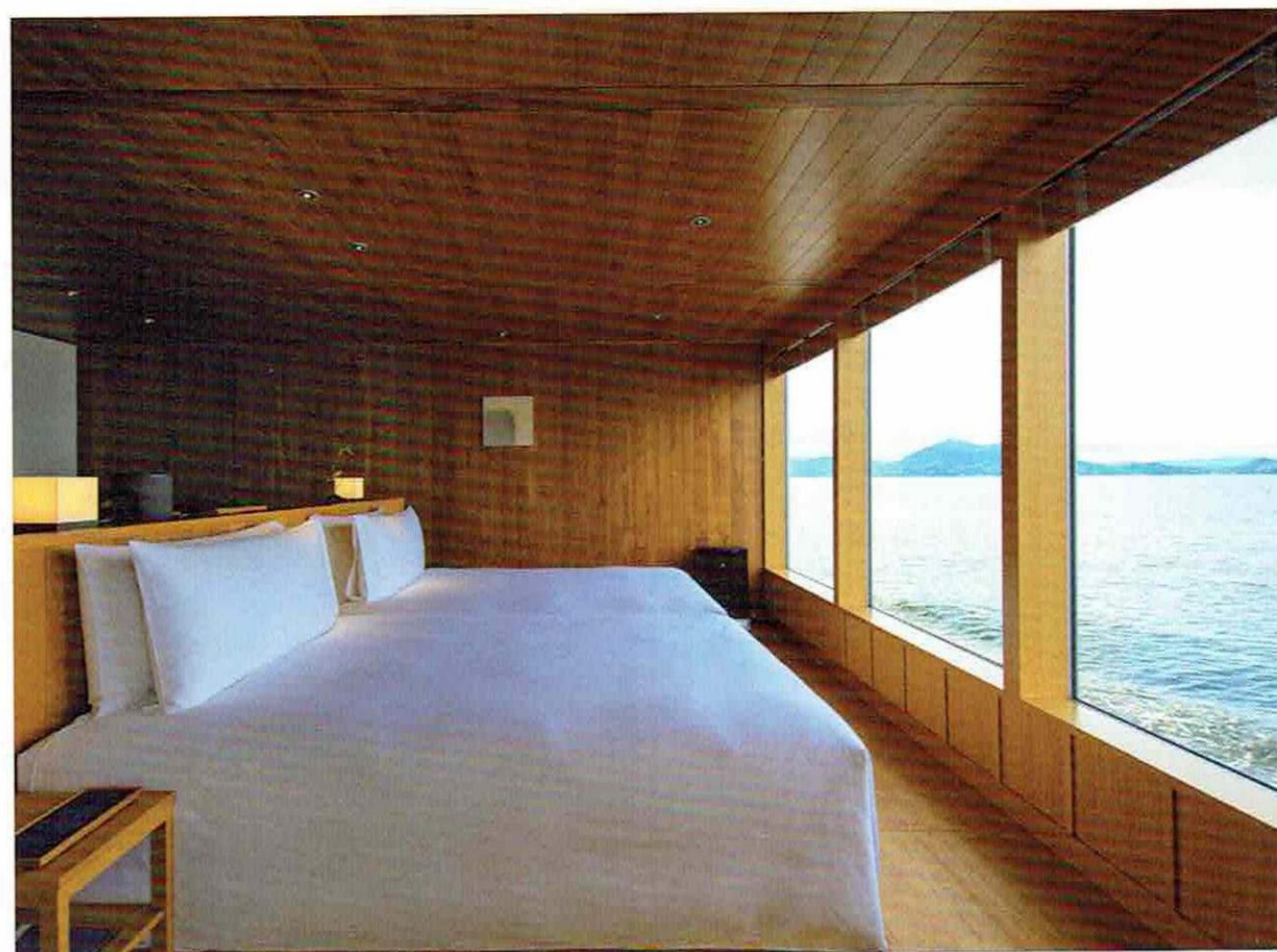
ほかにも目の前でつくれられる和菓子と煎茶、抹茶、珈琲のペアリングコースや、檜風呂とサウナを備えた浴場、トレーニングマシンのあるジムなど、さまざまなお楽しみ方を提案。もちろん船首側の景色を望めるカフェ＆バーや全室

50mを超える客室で、移ろいゆく景色を望める。もちろん船首側の景色を望めるカフェ＆バーや全室

景色をのんびり観望するのもよい。大小の島々が織りなす美しい景観はいつもそばにあり、眼福の時が絶えず続いているのだから。

旅の醍醐味といえる食事も素晴らしい。和食も洋食も地元の旬の素材を中心に用いた実直な料理が堪能でき、鮨カウンターでは瀬戸内海産のネタをお任せでたっぷりと味わえる。ガンツウの食事の基本は「お好きなものを、お好きなだけ」。この言葉通り、気の向くままに美食を満喫しよう。

すべてが新鮮で、すべてが最上級。五感を満たすガンツウの旅は、



全客室がオーシャンビュー

客室は4タイプあり、写真は「テラススイート 露天風呂付き」。滞在中の食事や飲み物、船外体験などが含まれたオールインクルーシブスタイル（一部有料メニューあり）のため、客室の冷蔵庫やワインセラーにあるドリンクもすべてフリーだ



船上の縁側で 黄昏のひととき

船の3階にある縁側。季節の甘味がいただけるほか、17時頃からは酒のつまみなども提供される。ドリンクの種類も豊富



guntu

問: ガンツウデスク (10:00 ~ 18:00
※日曜、祝日、年末年始を除く) Tel:

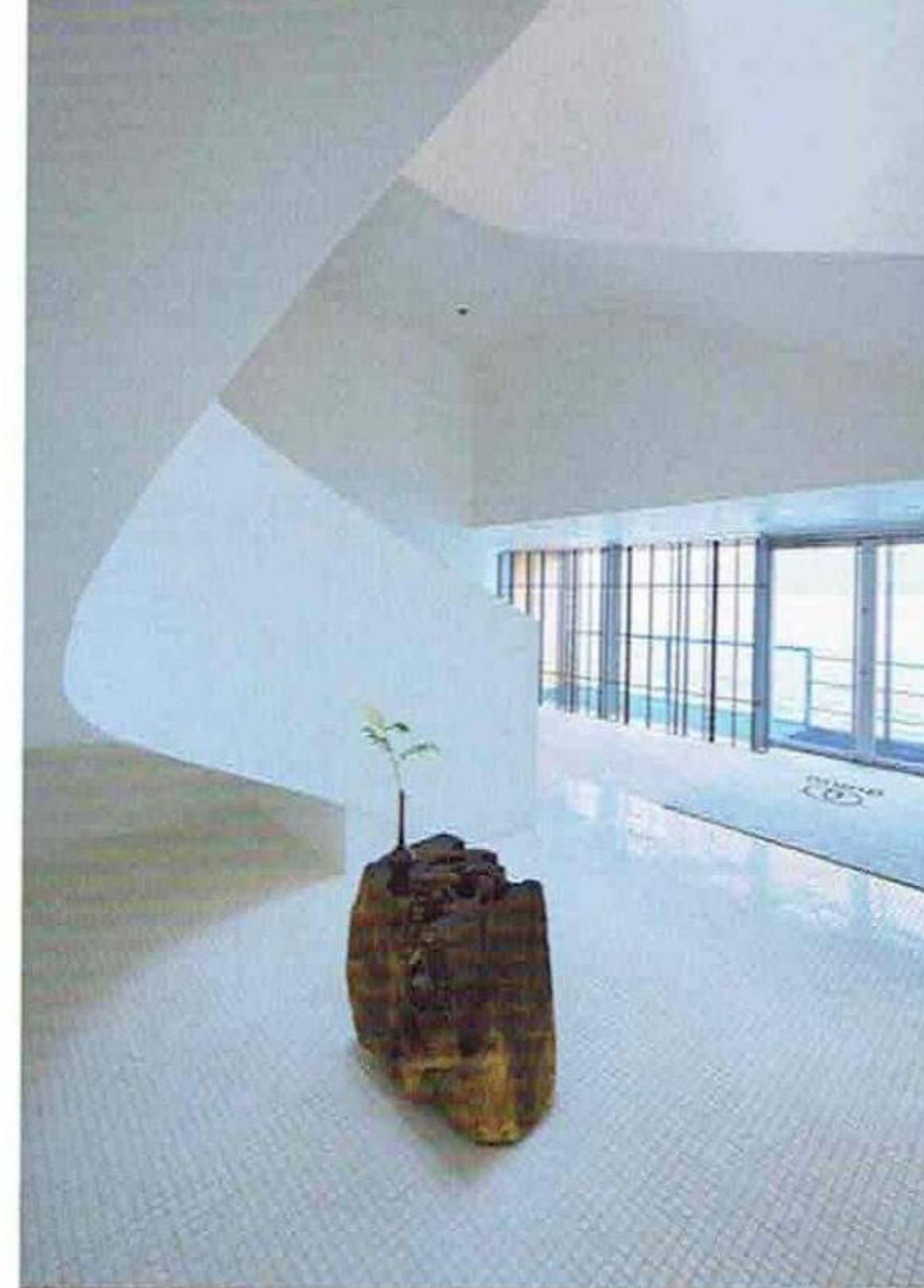
0120-489-321 Mail: info@guntu.jp

申し込み方法: 公式ウェブサイト、メールまたは電話にて受付。出発の31日前までに予約人数の総数が14名に満たない場合は催行中止。客室数: 19室。出港・帰港: 広島県尾道市にあるペラビスタマリーナ (広島県尾道市浦崎町1364-6) ※事前予約にてJR福山駅または広島空港までの送迎あり。旅行代金: 2泊3日間 / 1室2名利用 1名あたり50万円 ~ 110万円 (税・サ込、食事込)

※航路、プラン、客室によって異なる

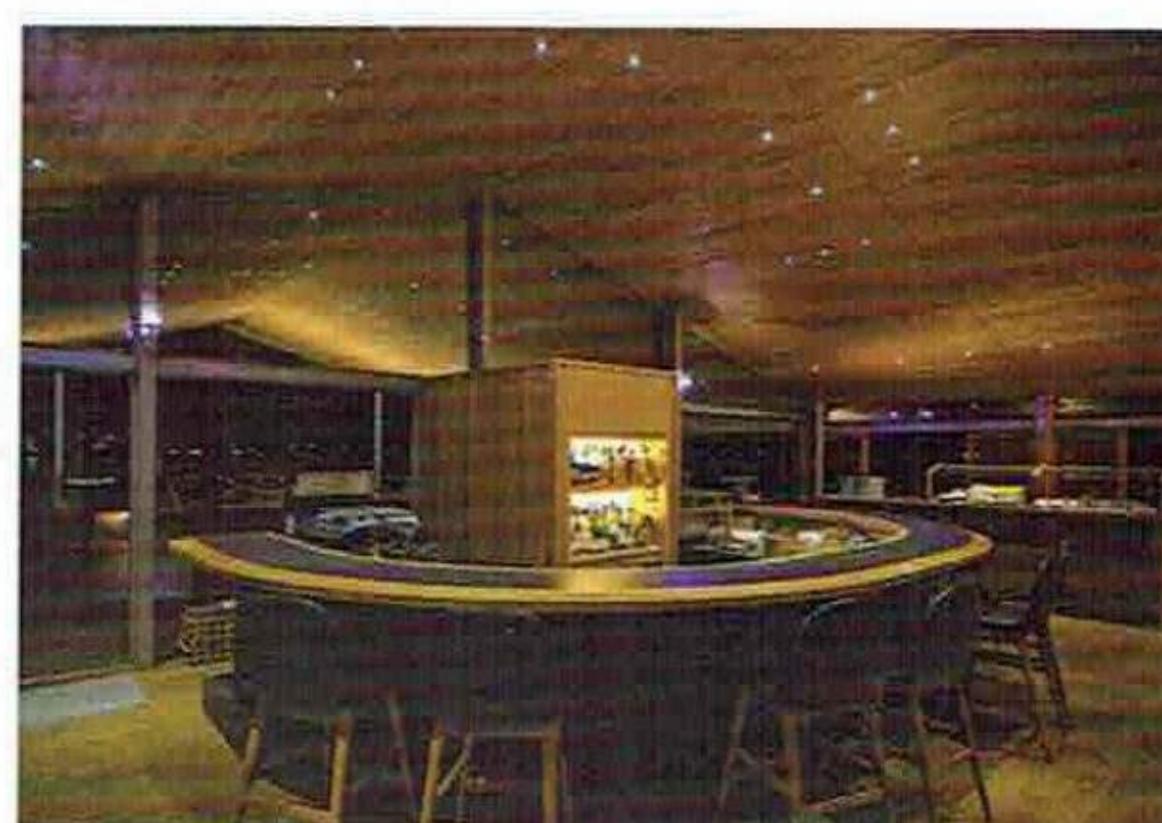
※ペラビスタスパ&マリーナ 尾道 (P80) の前後泊プランあり。1泊夕朝食付2名 1室利用 1名あたり4万3450円~(税・サ込) 夕食: ダイニング (和食、洋食) 朝食: ダイニング (和食、洋食) アクセス: 車 / 山陽自動車道福山東ICから約50分 電車 / JR福山駅から車で約40分 施設: ラウンジ、カフェ&バー、ダイニング (和食、洋食)、縁側、浴場、鮨カウンター、トリートメントルーム、ジム <https://guntu.jp>

航路&プランの詳細は
QRコードをチェック!



美術館のようなエントランス

漆喰の壁と大理石のタイルで構成されたエントランスホール。ミニマルで上質な雰囲気が漂う



寛ぎのカフェ&バー

10席のみの半円状のバーカウンター。スペシャリティ珈琲やフレッシュジュース、オリジナルカクテルなど、お好みの飲み物をいただける



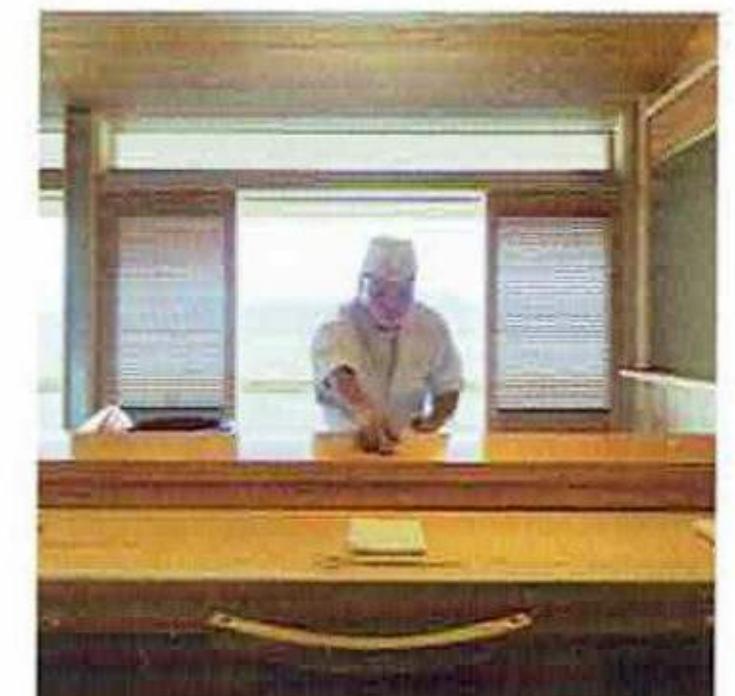
季節の和菓子も楽しみのひとつ

ラウンジでは奈良「櫻舎」監修の和菓子を提供。目の前でつくられる和菓子と煎茶・抹茶・珈琲のペアリングを楽しめる船内体験もある



海を望むカウンターで瀬戸内の幸を

名店「淡路島 瓦」監修の鮨カウンター。ハモ、タコなど、瀬戸内で捕れる新鮮なネタが揃う鮨をお任せで提供。どのネタも鮮度抜群。職人の繊細な仕事に感動を覚える



6月9日(木)出航! 夏の特別航路へ

京都「菊乃井」を経て、2018年、東京・南青山に日本料理店「てのしま」をオープンした、店主・林亮平氏を迎えての特別プランが出航! 滞在3日目の昼時に、林氏の本家のある手島に寄港し、岡山県の郷土料理「ばら寿司」をはじめ、島の美味が振る舞われる。ガンツウならではの島の日常に出会う非日常の船外体験に注目だ。

夏の特別航路

北木島沖・小豆島沖・鞆の浦沖錨泊 四日間

日程: 6月9日(木) ~ 6月12日(日)

滞在スケジュール:

6月9日(木) ペラビスタマリーナ ~ 北木島沖錨泊、

6月10日(金) 北木島沖 ~ 小豆島沖、

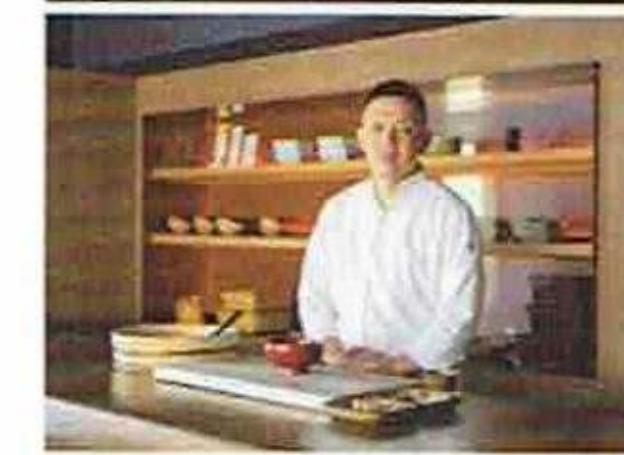
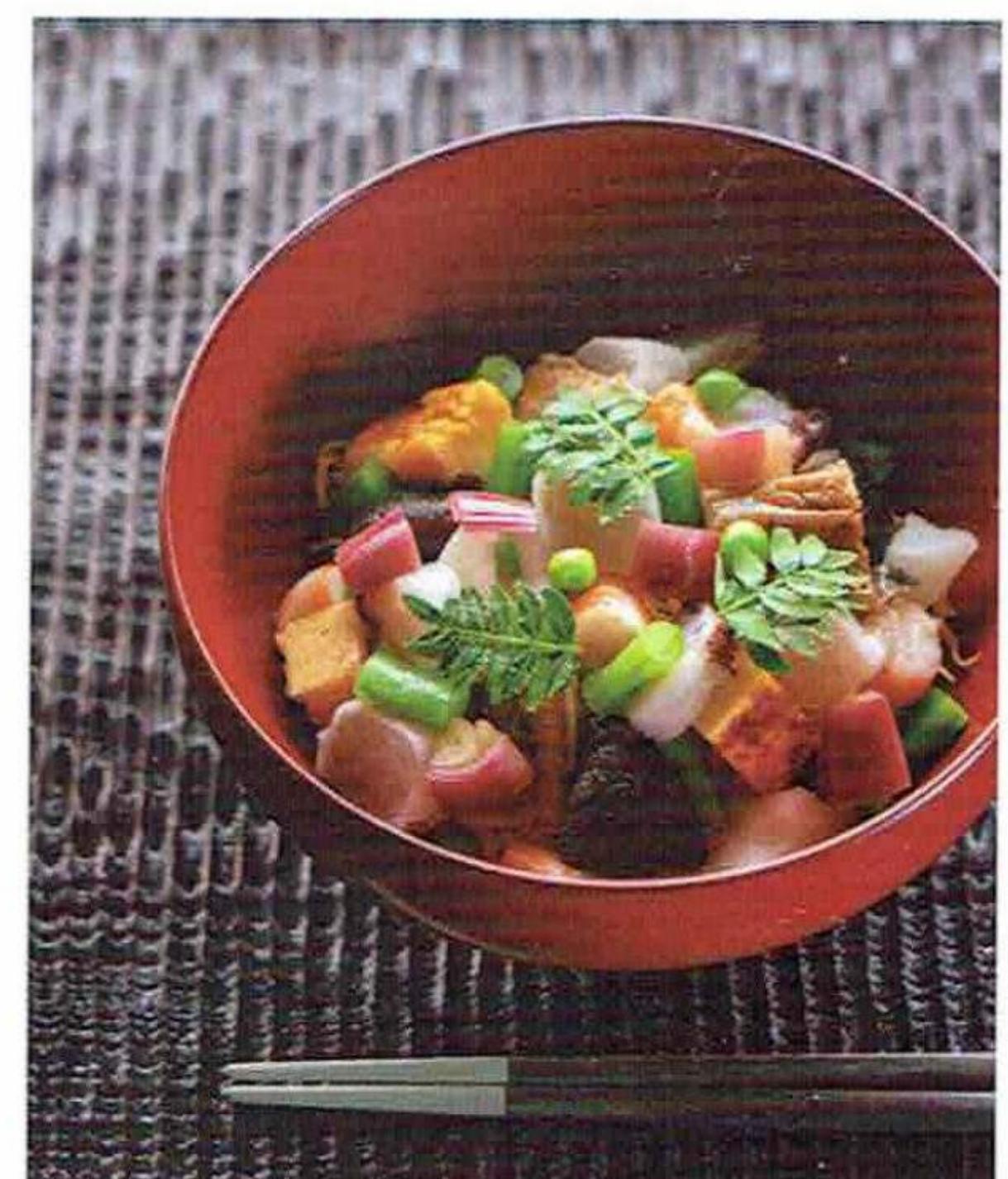
6月11日(土) 小豆島沖 ~ 手島 ~ 鞆の浦沖、

6月12日(日) 鞆の浦沖 ~ ペラビスタマリーナ

※天候や海上状況によりルート変更の場合あり

料金: 2名1室利用 1名あたり80万円 ~ 155万円

(税・サ込) ※朝3回、昼2回、夕3回の食事付き



「昔ながらの空気感と、島の人々のおもてなしを楽しんでいただきたい」と林氏は語る